

ニュース・リリース

2018年 6月11日 (月)

◇全仏オープンテニス2018女子ダブルスで、
穂積絵莉選手、二宮真琴選手ペア
(共に橋本総業ホールディングス所属)が
日本女子同士で初のグランドスラム準優勝！



穂積絵莉選手

二宮真琴選手

準々決勝では、第1シードのティメア・バボス (ハンガリー) / クリスティーナ・ムラデノビッチ (フランス) を7-6(4) 6-3で破り、準決勝では、第8シードのチャン・ハオチン (台湾) / ヤン・シン (中国) 組を6-2, 6-2のストレートで破り、日本人女子ペアでは史上初となる四大大会決勝進出を果たしましたが決勝では、第6シードのバルボラ・クレイチコバ、カテリナ・シニアコバ組 (チェコ) に3-6、3-6で屈し、四大大会で初のタイトルには届きませんでした。

日本人同士のペアで同種目初の準優勝となり、2人合計の賞金28万ユーロ (約3640万円) を獲得しました。

ダブルス 賞金 1ユーロ=130円換算	
優勝	56万ユーロ (7,280万円)
準優勝	28万ユーロ (3,640万円)